

船橋市立医療センターNews No.19

●発行年月日/平成26年1月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 高原 善治
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/>



「香取市の牧場にて」船橋市役所職員OB撮影



平成26年 新年にあたって

船橋市立医療センター院長 高原 善治

明けまして、おめでとうございます。今年も市民の立場にたち、医療の質を高めていく所存です。よろしくお願いいたします。

昨年10月で開院30周年を迎え、これを記念してイベントを行いました。10月6日には記念講演会と祝賀会を盛大に開催することができました。また市民の皆様へは、10月10日に開院30周年記念公開医療講座をきららホールで、また9月9日から27日まで船橋市役所1階で写真展も開催させていただきました。当院は設立以来、急性期医療（特に救急医療とがん診療）を中心とした高度な医療を主体として運営してきました。30周年という「ふしめ」を迎え、これからも市民の健康を守るべく、質の向上と高齢化社会に向けて利便性のよい急性期医療を目標に努力していきます。

現在当院では、外来患者さんが過密となり待ち時間が問題となっています。特に紹介状をお持ちでない初診患者さんの増加は大きな要因となってきています。そこで当院では、まず皆様の近隣にある連携医を受診することにより、初診であっても連携医から外来予約がとれるサービスを行っています。連携医については、当院のホームページで検索できます。また院内にも連携医マップを用意しています。是非、連携医からの紹介外来予約を利用され、できるだけ予約によるスムーズな外来診療にご協力お願いします。

目次

院長あいさつ.....	1	手指衛生ポスターの優秀作品を表彰しました／	
特集 医療センター開院30周年記念イベントを開催 …	2～3	成果発表会を開催／市政功労表彰	6
自動精算機を導入／診療科紹介.....	4	医療相談／看護師（常勤・パート）募集.....	7
大地震を想定した訓練を実施／研修医のつぶやき.....	5	外来担当医師一覧表.....	8

特集 船橋市立医療センター開院 30周年記念イベントを開催

当院は、平成25年10月1日で開院30周年を迎えました。これを記念し、昨年10月6日に開院30周年を祝う記念講演会と祝賀会を挙行了しました。当日はご来賓の皆様、関係医療機関の皆様をはじめ、多くの方にご出席いただきました。



仕事への取り組み方について興味深いお話をしていただきました。『はやぶさ』が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、その七年間の歩み』と題して講演していただきました。はやぶさの宇宙飛行を通して経験されたことの中で、「やれる理由を見つけて挑戦すること」の大切さなどのお話がありました。

引き続き、会場を移して開催された祝賀会には、来賓、医療関係者および当院職員ら約180名が出席しました。高原院長が主催者挨拶を行い、松戸徹船橋市長、長谷川大船橋市議会議長、齋藤康千葉大学学長、深沢規夫船橋市医師会長、藤代孝七前船橋市長、奥山武雄元院長から祝辞が述べられ、祝電も披露されました。鈴木病院事業管理者の発声により乾杯が行われ、各テーブルでは昔の話や、これからの医療のことなど、思い思いの話を花を咲かせていました。また、会の中盤からは迫力ある和太鼓の演奏も加わり、開院30周年を盛大に祝いました。



松戸徹船橋市長から祝辞をいただきました



職員がリーダーを務める和太鼓チームが会を盛り上げました

10月10日には、市民文化創造館（きららホール）にて開院30周年記念公開医療講座を2部構成で開催し、開院30周年の記念行事を締めくくりました。

第1部 | 「高度医療を担う急性期医療病院として」



開院30周年記念講座ということで少々硬い演題名にもかかわらず若い方からご高齢の方まで多数ご参加いただきました。30年間の歩みを踏まえ、現在の当院の役割や診療内容について話をさせていただきました。開院以来、基本診療方針として①高度医療、②24時間体制の救急医療、③地域医療連携（開放型病床）を掲げ、この方針はぶれることなく現在に至っています。平成6年に救命救急センターを開設し、全国に先駆けてドクターカーの運用を開始しました。平成19年には地域がん診療連携拠点病院として高度ながん診療の拠点と位置付けられました。平成22年に地域医療支援病院となり、かかりつけ医との連携と役割分担を進めています。平成24年にはDPCⅡ群病院（＝大学病院に準ずる高診療密度病院）に指定されました。

当院は今後も市民の皆様と共に歩んでいきますので、よろしくお願いします。

診療局長 丸山 尚嗣

第2部 | 「船橋市の救急医療体制」



当日はお忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。船橋の救急医療体制は他地域と比較しても非常に良く出来ていると思います。診察後、帰宅出来るような軽症な患者さんに始まり、入院が必要となる患者さんの受け入れ、また緊急で処置や手術等が必要となる重篤な患者さんまで受け入れ体制が整っています。自分では大したことはないと思っても重篤な疾患の場合もあります。いつもと違うと感じたら医療機関を受診してください。夜間休日急病診療所、2次病院ネットワーク、3次救命救急センターと連携が来ています。どの医療機関を受診しても疾患に応じた施設に紹介して、適切な治療が出来るようになっていきますので安心してください。

救命救急センター長 境田 康二

写真展 を実施

9月9日～9月27日まで当院の開院30周年を記念し、「船橋市立医療センター30年のあゆみ」と題した写真展を市役所1階で行いました。開院当初から現在までの外観写真や手術の様子など日々進歩する医療の現場を10点の写真で紹介し、30年間を振り返りました。その後、当院1階においても写真を展示し、多くの方々にご覧いただきました。



昭和63年頃最先端の機器を用い、検査結果を検討するかかりつけ医と当院医師

自動精算機を導入しました

当院では、昨年10月20日に自動精算機を導入し、外来診療費、入院診療費のお支払いが可能となりました。操作方法は簡単ですので、診療費のお支払いの際は自動精算機をご利用下さい。なお、自動精算機前にスタッフがおりますので、ご不明な点はお気軽にお尋ね下さい。



【外来診療費のお支払までの流れ】

外来受診終了

↓
会計受付(4番)に受付票を提出します

↓
会計表示盤に受付番号が表示されます

※お支払いは会計表示盤に「受付番号」が表示されてからお願いします。

↓
自動精算機にてお支払

※自動精算機の前にてお並びいただくようになっています。ご協力をお願いします。なお、窓口での会計も可能です。

↓
処方せんがある場合は、
処方せん受付窓口(8番)でお受け取り下さい。

※処方せんの受け取りをお忘れのないようお願いします。

入院診療費のお支払いの際は、入院請求書をお渡ししますので自動精算機にてお支払いが可能です。

診療科紹介

心臓血管外科

当院では、心臓と血管の治療を担当する外科(心臓血管外科)と内科(循環器内科)とがハートチームを組み、協力しながら、更なる高度な医療を提供するため「心臓血管センター」を開設しました。心臓血管外科は、内科治療よりも外科治療が適すると判断された狭心症・心筋梗塞、心臓弁膜症、先天性心疾患、大動脈瘤、動脈閉塞症などを手術で治療します。

年間約300例の心臓や血管の手術を行っています。当院は人口約170万人を擁する東葛南部保健医療圏の3次救急医療を担う救命救急センターを併設



茂木 健司
心臓血管外科部長

していますので、手術症例のうちの約20%が、救急車で搬送されてきた瀕死の患者さん(急性の心臓病・大動脈瘤破裂や外傷)の命を救うための緊急手術です。365日24時間対応しています。

一方、総合病院であるという利点を生かし、他科との合同手術や合併症を持った患者さんの治療も積極的に行っています。

なお、足の静脈瘤の治療は行っていないので、近隣病院を紹介しています。

※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。

大地震を想定した訓練を実施

昨年11月7日に、船橋市内で大規模な地震が発生した場合を想定して、防災訓練を実施しました。

今回は、震度6弱の地震により、周辺で建物の倒壊などによる多数の負傷者が発生したという想定のもと、無線を使った情報収集、地震発生直後に押し寄せる多数の負傷者のトリアージ、さらに市内の応急救護所から車で搬送された重症患者の受け入れなど、実践的な訓練を行いました。

トリアージとは、災害などにより医療スタッフや医薬品等が限られる状況の下でも最善の治療を行うために、負傷者の緊急度に合わせて搬送や治療の優先順位を決めることで、災害医療では大変重要なことです。

当院のスタッフのほか、市の危機管理課や消防局救急課と連携したほか、医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会などから訓練の見学に訪れるなど、今後の災害医療連携という面においても、大変有意義なものとなりました。

今後も、災害拠点病院として、地域の災害医療の拠点として、災害発生時により多くの命を救うことができるよう、多彩な訓練を実施していきます。



緊張感が漂うトリアージ訓練



負傷者を搬送している職員

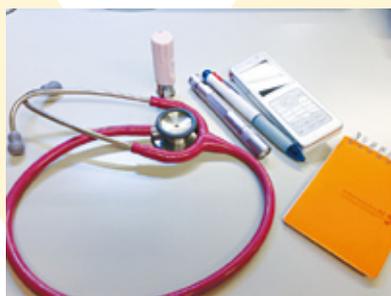
研修医のつぶやき



初期臨床研修医1年 沼崎 美香

研修が始まって早くも半年以上過ぎました。

研修医は基本的には2年間の研修を行います。病院によって研修する科や内容は少しずつ異なりますが、この病院での研修医は1年目に循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、脳神経外科、救命救急センター、麻酔科でそれぞれ2か月間の研修を行います。



研修のために必要なもの

研修医のポケットにはこんなものが入っています。

聴診器、ペンライ

ト（神経診察をしたり、のどが赤くないか見たりするのに使います）、ハンコ、院内のどこにいても連絡がすぐ取れるようにPHS、そして研修医にとっては一番必要なメモ帳と筆記用具です。学んだことはもちろん疑問に思ったことも忘れないうち書きとめて、後で詳しく調べたりまとめたりしています。

業務の後や休日には講演会、学会、勉強会に参加することもあります。

各分野でご活躍の先生方のお話が聞ける機会ですので、非常に刺激的で貴重な場です。このように毎日が学びの連続で、充実した研修をさせていただいております。

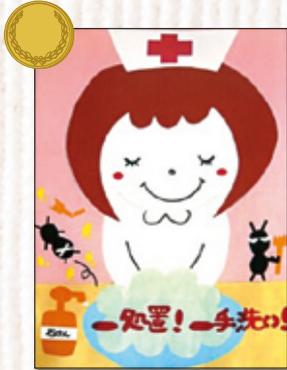


現在研修中の脳外科の講演会に参加しました

当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

手指衛生ポスターの優秀作品を表彰しました

「手指衛生は感染対策の基本中の基本！」というわけで、感染制御室では、手指衛生の向上を今年度の重点目標とし、職員の手指衛生推進ポスターコンクールを初めて行いました。応募総数42点の中から以下の3点が優秀作品に選ばれ、表彰式が行われました。



病院長賞 (1位)

A6病棟 小池・田口・熊谷看護師

新人3人でポスターを作成しました。ポスターの実物は切り絵で、立体感が出るように工夫しました(コピーではわかりにくいですが……)。可愛いらしい看護師に親近感を持ってもらえたのでしょうか。皆さんに選んでいただきとても嬉しいです。今後も引き続き 手洗い・手指消毒を続け、安全な医療を提供していこうと思います。



感染制御室長賞 (2位)
検査科 出川和則検査技師

手を洗いたくなるような写真を選んで作成しました。手洗い推進活動を応援します。



院内感染対策委員会賞 (3位)
B4病棟 川俣 照子助産師

『周囲の人みんなに思いやりの心を持って手洗いをして欲しい』という願いを込めて作成しました。受賞と知った時、「絵のセンスの無い私が!」と驚きました。今後も手洗いを推進していきたいと思います。



9月から順次、病院内の掲示板や洗面所に掲示し「手洗い推進活動」に一役かっています。来年もやります!

(感染制御室)

平成25年度 成果発表会を開催

今年度も4月に院内の部署ごとで年度目標を設定し、成果発表会を昨年11月18日に開催しました。今年度は、患者満足度の向上を目標に患者さんの立場に立って「食事の中断」や「におい」の見直しに取り組んだA5病棟が最優秀賞を受賞しました。

当日は多くの職員が集まり、それぞれの部署が取り組んできた成果に耳を傾けていました。



最優秀賞を受賞したA5病棟の発表

市への功績が称えられ当院関係者4名が表彰されました

市政の発展や、教育文化・福祉・産業などの振興に功績のあった方、善行により市民の模範となった方、247名・42団体への表彰式が昨年11月1日に市役所にて行われ、当院の関係者4名が表彰されました。

市政功勞表彰 (市社会福祉審議会臨時委員)

多部田弘士 (副院長)

三村 雅也 (診療局技監兼整形外科部長)

善行表彰

佐々木文江 (病院ボランティア)

藤田 敦子 (病院ボランティア)

佐々木さんの感想

この度は思いもよらず市の表彰を受ける事になり、戸惑いながらも有難く思っております。色々学ばせて頂き、感謝しながら、これからも患者さんから気軽にお声をかけて頂き、お役に立ち、喜んで頂けるように努力していきたいと思っております。

病院ボランティア (患者さんの案内や図書整理など) を募集しています。詳しくは、医事課まで

医療 相談



医療費控除は どのようにしたらいいの？

医療費控除とは、前年（1月1日から12月31日）に支払った医療費の自己負担額の総額が10万円を超えた場合、または合計所得金額（世帯合算）の5%を超えた場合、最高200万円までの医療費控除が受けられる税制度です。

<医療費控除の対象となる金額の計算方法>

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{実際に支払った} \\ \text{医療費の金額} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{保険金などで} \\ \text{補てんされる金額} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline 10万円 \\ \text{(所得金額等が200万円未満の人は、所得金額の5\%)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{医療費控除} \\ \hline \end{array}$$

*医療費控除の対象となる主な項目

1. 医師、歯科医師による診療費、治療費
2. 治療、療養のための医薬品の購入費
3. 治療のためのあんま、マッサージ、指圧、はり、きゅう等の施術費
4. 介護保険制度の下で提供された一定の施設・居宅サービスの自己負担額
5. 通院費、入院中の部屋代や食事代
6. 義手、義足、松葉杖、義歯などの購入費用
7. おむつ代（6か月以上寝たきり状態で、医師が発行した「おむつ使用証明書」が必要）
8. ストーマ用装具代（医師の証明書が必要）

※その他対象になるもの等についてのお問い合わせは税務署へお願いします

申告方法：確定申告書、給与の源泉徴収票、印鑑、医療費の領収書を持って、3月15日までに近隣の税務署で確定申告をします。なお、申告は5年前まで遡って申告可能です。詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせください。



問い合わせ

地域医療連携室 E館1階
電話：047-438-3321 (代)
受付時間：午前9時～午後4時
(土日・祝日・年末年始(12/29～1/3)を除く)

看護師(常勤・パート)募集

平成25年度募集概要



救急医療、がん医療、地域医療に発展的に
がんばっている病院です。一緒に働きませんか。
常勤は59歳、パートは64歳まで応募可能です。
パートは随時募集しています。

- 資格／看護師・助産師免許をお持ちの方又は、26年春季までに取得見込みの方
- 募集／看護師・助産師(正規・パート)
- 休日／4週8休制
(パート職員の場合は、勤務日数・時間の相談に応じます。)

※詳細は当院ホームページ (<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/index.html>) をご覧いただくか、総務課庶務班までお問い合わせください。

※看護職を対象とした病院説明会を開催しています。当院ホームページをご覧ください。

今後の試験実施予定

試験日	受験申込期間
3月 8日 (土)	1月 9日～ 2月26日

公開医療 講座

第17回 「肺癌ってどんな病気？」

日時：1月21日(火) 午後2時30分～3時30分
講師：平野 聡 (腫瘍内科部長)
会場：市民文化創造館 (きららホール)

定員：当日先着200人
費用：無料
問い合わせ：医事課

ぜひご参加
ください

船橋市立医療センター

電話番号 047-438-3321 (代)

外来担当医師一覧表

平成26年1月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
内科	新患	明杖 直樹 〔交替医〕	前川 祐子	下山 立志	関根有希子	〔交替医〕	消化器の(火)の水本、(火)の安藤、(火)の関、(金)の小林は予約患者のみ
	呼吸器	中村祐之・山岸一貴	徳田敦子・中村純	多部田弘士・山岸一貴	中村祐之・中村純	多部田弘士・平野 聡	
	消化器	水本 英明	水本 英明 関 厚佳 高城いぶさ	安藤 健 東郷 聖子	水本 英明 関 厚佳	小林 照宗 安藤 健 今関 洋	腫瘍は、肺がん、縦隔腫瘍、原発不明がんが対象
	代謝腫瘍	岩岡 秀明 平野 聡	下山 立志	鶴岡 明	下山 立志	岩岡 秀明	
心臓血管センター	循環器内科 予約	杉岡 充爾 稲垣 雅行	福澤 茂・黒岩信行 沖野 晋一	前川 潤平 稲垣雅行・内山真史	杉岡 充爾 市川壮一郎	福澤 茂 池田 篤史	※(火)は第1・3・5稲垣、第2・4内山
	循環器内科 新患	前川 祐子	池田 篤史	〔交替医〕	沖野 晋一	〔交替医〕	
	心臓血管外科	〔手術日〕	高原善治・茂木健司	〔手術日〕		〔手術日〕	午後1時30分から ※第1・3・5高原 ※第2・4 茂木
緩和ケア内科				〔交替医〕	〔交替医〕		午前9:00～ 予約患者のみ
精神科		宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦		新患は事前予約が必要
小児科		木谷 豊 島崎 俊介	佐藤 純一 内山 薫	丹羽 淳子 奥主健太郎	木谷 豊 香川悠・長岡孝太	伊賀 裕子 坂井 美穂	
外科	消化器・一般	丸山 尚嗣 宮崎 彰成	渡辺 義二 夏目 俊之 佐藤やよい	丸山 尚嗣 山本 悠司	田中 元 太田 拓実	宮崎 彰成	(月)松崎 午前のみ (火)丸山 午前のみ (水)吉原 午後のみ
	乳腺	松崎 弘志		松崎 弘志 吉原ちさと		唐司 則之 松崎 弘志	
	新患	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	
整形外科		〔交替医〕 大田 光俊 〔手術日〕	池之上純男 高瀬 完 〔交替医〕	三村 雅也 鮫田 寛明 新保 純	〔交替医〕 橋本 瑛子 〔手術日〕	〔交替医〕 榎本 隆宏 〔手術日〕	予約のない患者は (月)・(木)・(金)
形成外科		〔手術日〕	葉丸 洋秋	葉丸 洋秋	〔手術日〕	伊藤 謹民	
脳神経外科		唐澤 秀治 鈴木 孝典	唐澤 秀治 〔手術日〕	畑山 和己 根本 文夫 唐澤 秀治	唐澤 秀治 安間 芳秀 〔手術日〕	内藤 博道 唐澤 秀治	
呼吸器外科		内田 修 一ノ瀬修二	〔手術日〕	内田 修 一ノ瀬修二	木下 孔明 〔交替医〕	〔手術日〕	(木)は内田・一ノ瀬が交替
皮膚科		大田 玲奈	大田 玲奈 宮川 健彦	〔手術日〕	大田 玲奈 宮川 健彦	〔交替医〕	予約患者のみ (金)は大田、宮川が交替
泌尿器科		武田 英男 〔手術日〕	佐藤 信夫 黄 和吉	佐藤 信夫 〔手術日〕	佐藤 信夫 武井 亮憲	佐藤 信夫 滝澤 一晴	
産婦人科		鈴木 康伸 斉藤 俊雄	〔交替医〕 〔交替医〕 〔手術日〕	斉藤 俊雄 佐川 泰一 〔手術日〕	鈴木 康伸 長嶋 武雄	長嶋 武雄 川原 麻美 〔手術日〕	
眼科		上原 七生 谷口 有子	松枝 美文 〔手術日〕	松枝 美文 〔手術日〕	上原 七生 上原淳太郎	上原 七生 谷口 有子	予約のない患者は (月)・(木)・(金)
耳鼻いんこう科		〔手術日〕	小林 皇一 鈴木 智	小林 皇一 鈴木 智	〔交替医〕 派遣医師 〔手術日〕	小林 皇一 鈴木 智	休診(月)
放射線科		有賀 隆 東ヶ崎巖太郎	有賀 隆	有賀 隆 隈部 篤寛	有賀 隆 酒井 光弘	有賀 隆	新患は事前予約が必要
麻酔科		境田 康二	午前9:00～11:00 予約患者のみ				
歯科口腔外科		村野 彰行					
特殊外来	女性専用(内科)			古池 織恵			予約患者のみ
	腎臓内科(内科)		〔交替医〕				午後1:30～ 予約患者のみ 第1・3週のみ
	神経内科(内科)			澤井 摂			午後1:00～ 予約患者のみ
	スプリント外来(心外)		桜井 学				午後1:30～
	ペースメーカー外来			〔交替医〕			午後1:00～
	小児循環器(小児)	佐藤純一・〔交替医〕 奥主健太郎	村社 歩美	佐藤 純一			午後 予約患者のみ (火)は第2・4
	小児神経(小児)				林北見・牧野道子		午後 予約患者のみ 月1回
	小児腎臓(小児)				秋岡 祐子		午後 予約患者のみ 月2回
	小児外科(外科)				中田 光政		
脳神経内科(脳神経外科)			横田隆徳(3ヶ月に1回)		橋本 祐二	午前9:30～ 予約患者のみ	
脳神経外科(脳神経外科)		唐澤 秀治		唐澤 秀治			

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。